導入年度	Ｈ３０年度	設備名	マッフル炉			
メーカ	ヤマト科学㈱		型　式	FP312	設置室	いしかわ次世代産業創造支援センター 新材料開発加工室

《 概　要 》

試料を高温処理する装置。主に炭素繊維複合材（CFRP）やガラス繊維複合材（GFRP）の樹脂部分を熱分解で除去し、炭素繊維やガラス繊維だけにすることができる。炉内にヒータが露出しておらず、試料が熱源から隔離されていることが特徴である。

《 装置外観 》

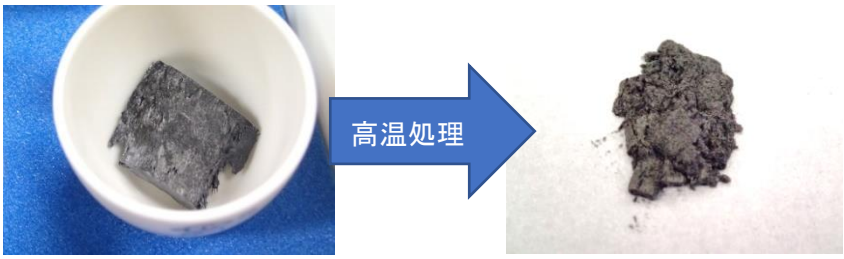
装置外観および内部構造

《 仕　様 》

・温度制御範囲：100～1150℃（1150℃通過時　約 90 分）
・運転機能：定値運転、オートスタート、オートストップ、プログラム運転
・内寸法（幅×奥行×高さ）：200×250×150㎜（内容積　約 7.5L）
・窒素ガス導入装置（流量計付き）

《 用途例 》

・複合材（FRP）の樹脂部分を高温処理により除去する（複合材の繊維含有量測定等に利用）



炭素繊維複合材　　残った炭素繊維